



瓊浦高等学校
学校通信
第 17 号

平成26年1月31日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

瓊浦の窓

「原点回帰 ～品格ある学校づくり～」

校長 宮崎 芳之

明けましておめでとうございます。

それぞれのご家庭におかれましてはどのようなお正月を迎えられたでしょうか。生徒諸君はそれぞれが新しい目標を掲げ、新鮮な気持ちで1年のスタートをきってくれたようです。本年も3学期の始業式で3名の生徒諸君に、今年の目標を語ってもらいました。学校への思い、自分の夢、瓊浦生としてのこれからのあり方など、3名の話は瓊浦の明るい未来を予感させてくれるようでした。

ところで、私は「原点回帰 ～品格ある学校づくり～」という目標を掲げました。来年には瓊浦高校創立90周年を迎えます。その準備の年に建学の精神に戻ろうという思いからです。実は、昨年11月に本校の創設者中村安太郎校長先生のお孫さんで、本校の前身である瓊浦高等女学校に在籍されたという方と話す機会があり、その中でそういう思いに至ったのです。少し紹介したいと思います。

「安太郎の思いを、是非継いでほしいと思います。瓊浦は誇り高い学校です。公立の倍の授業料を出してでも行きたい学校でした。『嫁にもらうなら瓊浦から』と言われるくらいでした。当時、学校単位で映画館へ映画鑑賞に行っていたのですが、他校の生徒は、ワイワイガヤガヤで、ごみも散らして帰っていくという状態でしたが、瓊浦の女子生徒は静かに観覧し、ごみ一つ残さず帰り、よく褒められていました。現在の瓊浦の生徒はどうでしょうか？どうか自分たちの『立ち振る舞い』に節度を持ってほしいと思います。生まれたときの姿（開設当時の姿）に戻ってほしいと思います。」
私は、安太郎先生のお孫さんのおその熱い思いに対して、「建学の精神を大事にし、『品格ある学校』にします。」と約束をしました。

今日を築き上げるために諸先輩方は厳しい勉強・部活動の中で、人間同志の結びつきを大事にし、礼節を重んじ、人生いかに生きるべきかを追究してこられたのです。そういう高邁な見識の上に「品格」が形成され、伝統の中に脈々と生き続けているのです。我々一人ひとりがこの瓊浦の「伝統」の意味を噛みしめ、そういう思いを受け継いでいく必要があると思います。

「品格ある誇り高き学校」であり続けるために、生徒諸君には「これからは自らが伝統を創るのだ」という気概をもって、学園生活を送ってほしいと思います。

新しい年の出発にあたり、それぞれが目標をかかげることで、気持ちを刷新して、日々努力するよう強く期待します。

皆さんにとってこの1年が良い年であることを願って、新年の挨拶と致します。

★ ★ 教務部より ★ ★

平成26年度入学試験が1月15日(水)と1月21日(火)の両日に行われました。今年度は推薦入試・一次入試とも昨年度を大きく上回る受験生に来ていただきました。中学校の生徒数が激減する中、本校の良いイメージが影響しているのではないかと思います。それは在校生の頑張りです。部活動や学校行事、海外研修など本校生の活躍には目を見張るものがあります。

「もっと上へ!!」さらに大きな飛躍が期待される26年度に向けて、新たな「新戦力」が加わることを期待しています。



進学指導部より

1月18日(土)～19日(日)の日程で今年度の大学入試センター試験が実施され、本校からは24名の3年生が受験しました。

今年の本校の受験会場である長崎大学の文教キャンパスには、早朝から多くの学校からの受験生や先生方が集まっており、糸が張り詰めたような独特な緊張感がありました。本校の生徒たちも初めて経験する雰囲気の中、緊張した面持ちで校長先生や学年主任、担任の先生方から激励を受けて試験場へと向かっていきました。各教科・科目の試験が終了すると一喜一憂する姿も見られましたが、全員が今持っている自分のベストを出してくれたものと信じています。

来年受験する予定の2年生、そしてそれに続く1年生も、自分の目標を高く掲げ、先輩たちを更に超えていってくれることを期待しています。

修学旅行のお知らせ

いよいよ2月10日(月)から14日(金)にかけて、2学年の修学旅行が実施されます。今年度は新潟・東京の旅行行程となっており、例年同様、スキーと東京研修がメインとなっています。

長崎では普段目にする事のない一面の雪景色や首都東京の街並みをじかに目にすることで、多くのことが学べるのではないかと思います。また、集団行動を通して、仲間たちとの絆がより深まるものと考えています。

修学旅行の様子については、学校のHP内のブログにて随時報告いたしますので、ぜひともご覧下さい。



《 主な行事 》
2月

2日(日)	長崎検定
4日(火)	登校日 ③
7日(金)	修学旅行結団式 ②
8日(土)	対外実力試験 ②
10日(月)	修学旅行 ②(～14日) 登校日 ③
12日(水)	きれいな街作り運動 ①
19日(水)	登校日 ③
20日(木)	学年末考査(～25日)
24日(月)	登校日 ③
25日(火)	学校評議員会
26日(水)	大学見学会
27日(木)	就職模擬試験 ② 登校日 ③
28日(金)	卒業式予行 同窓会入会式

【東アジア高校生友好キャリアアップ事業】

昨年12月16日から20日、4泊5日の行程で、長崎県の東アジア高校生友好キャリアアップ事業として中国の上海への研修が行われました。本校から機械科4名、情報ビジネス科4名の計8名の生徒が参加しました。

研修では、上海の現地日系企業への訪問や、現地の高校生との交流を行い、急速に発展する上海の現状、そしてそこで働く人々の姿を見ることで、貴重な経験となったようでした。参加した生徒からは「パワーを感じた。自分ももっと頑張らないといけない」、「もっと語学力を身に付けないとダメだと思った」など、前向きな感想が寄せられ、生徒たちにとってとても良い経験となったようでした。

今回参加した生徒たちが、それぞれの体験を今後の学校生活に活かすとともに、他の生徒たちに良い影響を与えてくれるものと期待しています。



【1年生 学年レクリエーション】

1年生の学年レクリエーションとして球技大会が、1月28日（火）6、7時間目に開催されました。

各クラス、球技大会に向けて熱心に練習を重ねてきました。トーナメントが進むにつれて、試合の内容も激しいものになっていき、応援側の生徒たちも、息をのむような展開が続きました。授業では見ることのできないような、一人ひとりの活躍を見ることができました。また、クラスを越えて声援を送りあうこともでき、学年としても絆が深まったようです。生徒たちの笑顔や声援があふれ、それぞれが達成感を味わうことができたようです。この気持ちを次の学年につなげていくためにも2月20日から行われる学年末考査にも努力を惜しまず、臨んでほしいと思います。

- 優勝 普通科D組Bチーム
2位 機械科B組Aチーム
3位 普通科C組Aチーム
3位 機械科B組Cチーム



【機械科 課題研究発表会】

1月30日、機械科3年生による課題研究発表会が行われました。卒業を間近に控えた機械科2クラスの生徒が8班に分かれ、それぞれのテーマで1年間研究してきた成果を発表しました。機械関係の企業に就職をする生徒も多く、専門的かつ実践的な取組が印象的でした。

来年、再来年の参考として見学をした1、2年生からは、「やはり先輩はすごい」という声が口々に聞かれ、それぞれに有意義な研究発表会となったようでした。



【卒業考査】

1月24日から29日にかけて、3年生にとって最後の定期考査となる卒業考査が行われました。これまで3年間学んできた集大成となる今回の試験では、これまで以上に真剣な面持ちで取り組む生徒たちの姿が見られました。

卒業まで残り1ヶ月。残り僅かとなった高校生活の中で、少しでも多くのことを学び取り、それぞれが次のステージに活かしてってもらいたいと思います。



【亀山焼・ハタ 校外展示会】

2月4日から6日にかけて、五島町のKTNギャラリーにおいて、「瓊浦亀山焼&ハタ」校外展が開かれます。本校では、2010年度より毎年、情報ビジネス科・機械科の3年生が、課題研究の授業を利用して陶芸、ハタ制作を学んでいます。

陶芸は、亀山焼の技法を研究している本校の町田先生の指導を受け、亀山焼の復刻を目指し「瓊浦亀山焼」と名付けて制作しています。また、ハタ制作では、ハタ専門店大守屋の久保さんから指導を受け、その歴史や技法を学ぶことができました。会場にはこのほか、JAXAの指導を受けて制作したユニークな凧も展示されています。興味のある方は、ぜひとも足をお運び下さい。

【部活動成績】

- 柔道部
第36回 全国高等学校柔道選手権大会
長崎県大会
男子個人 81kg級
第3位 石崎 凌(普1A)
- 卓球部
第68回 全九州卓球選手権大会
長崎県予選会
男子ダブルス
ベスト4 川渕 剛樹(機2C)
橋口 憂二(機2B)
- ソフトテニス
第43回 ゴーセン杯争奪
ハイスクールジャパンカップ2014
シングルス 長崎県代表選考会
第3位 高水間 功記(普2B)